

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専修学校麻生ビューティーカレッジの平成28年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

自己点検・評価 報告書

専修学校 麻生ビューティーカレッジ

平成29年 3月 30日

校 長 林 宏治

自己点検・評価責任者

校長代行 渡辺 博明

目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 5 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5	学生支援	- 7 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 9 -
基準 7	社会的活動	- 10 -
基準 8	管理運営・財務（学校・各部門）	- 11 -
基準 9	管理運営・財務（本部）	- 12 -
基準 10	改革・改善	- 14 -

平成28年度
(2016年度)

評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する（不適合）

基準 1 理念・目的

項目総括

理念や教育目的等については、ルールブックを中心に教職員で共有している。学生に対しても、適宜理解を促進している。また、外部に対しても Web 等を通じて適切に公表している。

主な課題及び改善の方向性

Web が重要な公表媒体であるが、若干探しづらい点があるため、今後改訂を図る必要がある。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

明文化し、学校構成員にも共有され、社会に適切に公表している。ただし建学の精神を、よりわかりやすく明文化する必要がある。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教職員に対しては、ルールブックに記載し、毎年実施されるキックオフ時に共有している。外部へ向けては、Web サイト(ASOの考え方)あるいは、入学生募集用パンフレットでうたっている。ただし、Web サイトにおいては、さがしづらい点と法人として、「建学の精神」の明文化が充分でないので、再度、整理して明文化する必要がある。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

新入生オリエンテーションおよび進級オリエンテーション時、また始業式、終業式において徹底を図っている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

平成 28 年度において、再整理を行い、教職員会議、非常勤講師会で共有を図った。また、毎年キックオフへ向けて次年度方針を立案する折に、見直し確認を行なっている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

明文化したものを整備している。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

Web サイト(情報公開)にて公表している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教員は必要要件にあった教員を配置している。施設設備は、必要要件は確保しているが、毎年見直しをはかり追加すべきものは時代にあわせ、検討を図っている。教員の負担に偏りが生じているが、平成 28 年度中に改善を図った。

基準 2 教育の内容

項目総括

内部、外部の関係者を巻き込み、ニーズを確認した上で、業界の人材ニーズを毎年確認しながら、カリキュラム、シラバスへ落とし込みを行なっている。それを実現するための教育プロセスや教員の資質の向上も計画的に行なっている。

主な課題及び改善の方向性

リメディアル(導入前教育、補習)教育は、今まで実施していなかった。次年度は導入を予定しているので、効果ができるよう取り組んでいく。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

内部、外部の関係者を巻き込み、ニーズを確認した上で、業界の人材ニーズを毎年確認しながら、カリキュラム、シラバスへ落とし込みを行なっている。

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

求人先の企業を中心にアンケートを実施し、欲しい人材の条件や身に付けてほしい能力などのニーズを収集、また職業実践専門課程の教育課程編成委員からも業界の新しい流れや取組を参考にカリキュラムの見直しを図り、パンフレットやオープンキャンパス等で発信している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

カリキュラムは学生便覧に記載し、配布、周知している。コマシラバス、シラバスも作成し、シラバスは授業開始時に担当教員から学生に説明を実施している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

規程通りに年に2回教育課程編成委員会を開催し、業界のニーズを収集しカリキュラムの見直しに反映している。また就職課や広報からの意見も参考にし、時代の流れに合ったカリキュラム作成を心掛けている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎年、前年度の課題を踏まえて、コマシラバスの見直しを行なっている。平成 27 年度の反省点をふまえ、今年度もコマシラバスの確認を行なった。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教授学習プロセスの改善および教員の資質の向上への取り組みを、計画に行なっている。

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートは定期的実施し、結果はフィードバックしている。担任についてはパワーアップ研修や就職研修を実施しているが、非常勤対象の研修については、実施はしていない。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業改善委員会を設置し授業向上研修を実施した。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

課題の抽出は出来ているが、研修の時期と対象を現在調整中。平成 29 年 4 月に、確定をする予定。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

外部機関や外部の方と触れあい、現場を知る機会を計画的に実施することができたが、BS科は、まだ充分できていないので、次年度以降は、より頻度をあげてできるよう準備を進める。

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

美容科においては必須科目として実務実習を全員実施している。BS科についてはインターンシップの受け入れ先が少なく、一部のコースに限り、アルバイト形式のインターンシップに参加している。また、BS科は、今年度、新たにチャリティサロンを開催し、他者に触れる経験を積ませることができた。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

全学科でGCBの授業を実施しており、美容科では運営管理、BS科ではビューティーコーディネートの授業を通じて職業観を育む授業を実施している。しかしながら、キャリア教育の形成までは、まだ充分いたっていない。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

入学時に基礎学力試験を実施しているが、入学前、入学後に基礎学力を補う教育の実施はしていない。ただし学期末試験等の再試験対象者に対しては勉強会などを実施し学力向上を支援している。また、次年度より、美容科、ビューティースペシャリストそれぞれにあったeラーニング教材を入学前から導入する予定で準備を進めている。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育の実施体制としては、教員組織、教育環境の計画的な整備、就職支援、図書整備、等を適切に行なっている。また非常勤講師とも、日常および非常勤講師会において、情報交換および教育の方向性のすりあわせを行なっている。

主な課題及び改善の方向性

一部の教員に負担がかかっていたが、次年度へ向けて教員担当科目の見直しを図り、適正化を図っている。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

概ね教育の実施体制としては、適正に整備しているが、一部常勤教員への負担が多くなった状況が発生したが、次年度へ向けて改善が図られるよう、平成 28 年度中に計画を行なった。

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人員数は要件を満たしているものの、産休中の教員もあり、常勤教員の担当授業コマ数は非常に多くなっている。年度末に次年度へ向けて策を講じた。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に3回講師会を開催し、情報交換を行うとともに、非常勤講師の控室を教務室内に設け、日常的な情報共有を図りやすくしている。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生が教育を受けるための、効果的な教育環境は概ね整備している。防災設備面で一部実施が遅れた項目があった。

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

設備や備品の管理、点検については担当科目教員を中心に行っており、提的に不良個所の修繕を行なった。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学外における実務実習については安全対策の依頼を実習先に口頭で行なっているが、文書化はしていない。次年度の文書より挿入する。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

防災、防犯設備等の点検は管理業者により適切に実施している。使用方法の周知については理解不足の面がある。平成 28 年度内を予定していたが、ずれこみ平成 29 年 4 月に事務職員を中心に講習会を実施予定。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職支援を行うための資料を備えたライブラリを設置しており、就職担当者2名在籍。ライブラリと教務室が同じフロアにあり、相談の行きやすい環境ができています。 休み時間、放課後、長期休暇時も学生が活用している。

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

図書室は整備し、専門図書や業界誌を自由に閲覧できる環境を用意している。28 年度は貸出できる図書の種類を増やした。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

教育目標は設定し、成績評価も適性に行なっている。毎月進捗管理しており、教育効果を確認しながら運営している。

主な課題及び改善の方向性

教育効果をより高めるために、進捗管理を更に徹底し、改善を図っていく。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育目的に関して、各内容に目標を設定し、その実現へ向けて進捗管理を行なっている。適性に運用がなされている。

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

評価基準を定め、適正に評価している。定期試験等の結果をもとに学習指導方法の検討などを実施している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国家試験等の合格目標を設定し、結果の検証、教育方法の見直しや検討を実施している。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各種検定やコンテストの目標設定はできているが、進捗状況の管理が充分徹底できていなかったため、新たに進捗管理のシートを作成し共有できるようにした。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

求人件数・求人者数や就職内定の目標や就職先のランク(S)目標を設定しており、就職目標を教職員で共有し理解している。また、受験報告書など学生は就職活動の記録を作成し、活動の管理を行なっている。就職部会、日々の業務内で学生面談情報の共有を図っており、学生の課題にあわせた学生向けセミナーを年度毎に企画し、実施している。就職実績は、印刷物や Web サイト等に公表している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学年全体で退学防止を目指す観点からクラス別目標設定ではなく、学年目標設定としている。退学率減少に向けての対策は、年度毎に設定している。また、退学に関する情報は学内で共有し、高校などへの報告も発生後タイムリーに実施している。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

学生支援や卒業生支援の仕組みやシステムは整備しており、組織的にサポートを行なっている。

主な課題及び改善の方向性

卒業生訪問の頻度をあげることと、卒業生に対してのサポート体制の認知を高める活動も今後強化する必要がある。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生支援のための仕組みや行事は整備しており、組織的にサポートを行なっている。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担任による学生の面談を定期的かつ必要に応じて実施し、学生がスムーズな学校生活を行なえるようフォローしている。担任は面談記録を作成し、管理者が閲覧し、指導できる状況にしている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学前および入学後は就職に関する説明会、三者面談を実施している。別途遠方(鹿児島、宮崎)の保護者に関しては、就職説明会および個別面談を実施。問題が生じたときは、組織的な対応を実施し、面談内容を時系列に記録している。その内容については、必要に応じて、関連する他部門に報告し共有している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

CDA有資格者が1名在籍している。また、別途グループ内のキャリアカウンセラーと連携した学生向け、教員向け研修も実施している。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

現在スクールカウンセラーが月2回来校し、適宜、学生の面談を行なっている。面談記録については福岡キャンパスにて分析。今後は面談結果が学生指導に効果的に活用される制度作りを行なう。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学内には、ハラスメント委員会を設置している。また、麻生塾内に人権委員があり、相談が出来る状況にある。学生および教職員に周知するために告知を行なっている。グループ校担当者との研修会に年間3～4回参加している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校独自の学費減免制度があり、積極的に告知を粉っている。また学外の奨学金制度も採用している。28年度選考(29年度4月入学)においては、2年間全額免除者が1名合格することができた。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

留学生、社会人学生、障がい者の受入を行なっている。留学生については就職課と国際交流センターにて対応しているが、業界の特性から就職不可能もしくは難航する分野もある。(日本の法に課題を抱えている側面がある)担任と就職課において密な情報共有を行ないながら、学習支援、就職支援、生活支援を行なっている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業以外の課外活動に対する人的・財政的な支援を行なっており、課外活動に対する支援規程がある。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生に対して、各種支援を行なっている。特に離職防止の目的で企業訪問を積極的に行なっている。ただし、平成28年度は、若干頻度が前年より減少したため、平成29年度はより頻度をあげる計画を立てている。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職課職員が定期的に卒業生の在籍する企業へ訪問し、就業状況を把握している。卒業後1年の就業状況も管理している。ただし、異動により担当者変更があり、訪問頻度は27年度に比べ減少した。次年度は、頻度をあげる計画を立てている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

随時卒業生の就職斡旋を行なっている。WebサイトにてPR及び求人情報を掲示しているが、近年利用者数が減少しているため、今後は認知を高める施策が必要である。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等にWebサイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

Webサイトに学校情報を掲載し、適宜更新をしている。特に最新情報は、ブログを通じて行なっており、ほぼ毎日の更新状況である。今年度より、ツイッターやインスタグラムにも情報を掲載している。

基準 6 学生募集・受け入れ

項目総括

入学生の募集活動は適正かつ適切に行なっている。

主な課題及び改善の方向性

定員の充足を更にはかる。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学生の受け入れ方針を明確にし、また適正な方法で学生募集活動を行なっている。また、入学生選考も公正かつ適切に実施している。

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

アドミッションポリシーを募集要項に掲載し、入学希望者に求められる資質、適性などを明示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

定期的に高等学校を訪問して営業活動を行なっている。進路室を訪問し進路指導の担当教諭や3年生の担任等に面会し、意見交換を行なっている。また、ガイダンスやセミナー等では高校生の進路ニーズを直接聞き取っている。把握した進路ニーズは会議等で共有し、カリキュラムや新学科設置の検討材料にしている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生募集のパンフレットや Web サイトで、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍などの教育成果を正確に伝えている。また、必要に応じて、新たにチラシ等も作成し、告知に努めている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育理念・目的等は、印刷物や Web サイト等で明示している。取得予定資格・検定、参加予定コンテストについても印刷物や Web サイト等で明示している。また、それらは、全教職員にて共有している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学費・教材費等は印刷物や Web サイト等で明示している。(学費のみではなく、修学期間にかかる納入金は全て明示している。)

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

選抜方法を印刷物や Web サイト等で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施している。入学者選考の実施方法や選考基準について、定期的かつ適切に検証している。また、その内容は、全教職員に共有している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定員に基づき適正に募集活動を行なっており、在籍学生についても、毎月管理している。また、毎年、定員の見直しの必要性について検討を行なっている。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

社会的活動は、今年度も積極的に行なうことができた。特に全校をあげて実施しているお仕事スタジアムにおいては、今年度も美容分野において、多くの参加者に職業の楽しさを知らしめることができた。更に、初めての試みとしてのチャリティサロンを開催することができ、次年度以降も継続する予定である。

主な課題及び改善の方向性

公開講座については、今すぐは実施できる体制ではないが、将来的な課題として残しておきたい。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

社会との関わりを促進するために、社会的活動は積極的に推進している。ただし、公開講座は、しばらくの間は実施を行なわない予定である。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

社会的活動において、全校的な活動の奨励、支援を推進している。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

現時点では実施に至っていない。実施可能な内部体制が整備してから、検討を進めていく。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

高等学校内での職業理解のためのガイダンスや模擬授業体験のガイダンスに参加している。また高校生により理解しやすいプログラムを実施できるように、参加者の反応を見て、常に見直しを行っている。麻生塾主催のお仕事スタジアムへの参加においても、職業理解の推進に努めている。更に、平成 28 年度は、新たにメイク・ネイルのチャリティーサロンを開催した。(次年度以降も引き続き実施予定)

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

学校の管理体制や役割分担は明確にしておき、それに基づき運営している。また財務運営に関しても、計画に基づき適性になされている。

主な課題及び改善の方向性

防災面の強化と事務職員の計画的な資質の向上を今後強化していく。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

会議体を中心とした管理体制が機能し、運営している。事務職員の資質の向上へ向けた研修が今後の課題である。

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

主要な運営会議を定期的に行い、また計画事案別会議やプロジェクトミーティング等も必要に応じて開催し、有機的に機能するようにしている。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担当業務により細分化した校務分掌を置き、運営責任を明確化している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

・防災等に対応するため、消防計画及び災害時の対応マニュアルを整備し、緊急時の連絡体制や役割分担を明記している。防災訓練は、実施することができなかった。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報については、各種情報の保護をとっており、学校全体の取組みとして「個人情報保護に対する基本方針」に基づき、部署、部門毎に漏れの無いように取り組んでいる。ただし、運用においてはまだ、不十分な点もある。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント防止の体制整備については、ハラスメント防止委員会の開催、関連規程の周知、連絡窓口の明確化を進めるとともに、防止措置の強化とハラスメント発生時の手続きの明確化に取り組んでいる。防止委員会の委員の意識の統一と、事例に関する判断能力の向上を図っている。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

本校職員としての資質の向上と職務遂行能力の向上を目的として 職員研修制度に参加している。28 年度の事務局職員の研修計画は十分出来ていない。次年度は、事務職員についても計画を立て、実施する。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

財務体質は健全で、財務運営は適切に行われている。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算を毎年計画し、進捗管理は毎月行なっている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎月進捗管理がなされ、予算に沿って適切に執行している。必要があれば関連部署と相談の上、見直しを行っている

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

固定資産管理規程に基づき、管理・運用を行っている。

小項目 8-2-10

適用除外

基準 9 管理運営・財務（本部）

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 規程通りに運営している。

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果: B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント 文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

財務体質は良好。月次での予算管理、四半期での報告など適切に運営している。

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

ほぼ達成しているが、周知が不足している部分もある。

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント
地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント
desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント
ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。
図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

基準 10 改革・改善

項目総括

改革・改善活動は、概ね計画的に行なわれているが、幾つかの課題はあり、次年度は、それを踏まえた活動としていく。

主な課題及び改善の方向性

改善活動を責任者だけでなく、教職員全員を巻き込んだ改善活動としていく。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント
自己点検・評価活動は概ねシステムとして稼働しているが、責任者を中心とした活動になっている点を改善し、次年度は、教職員全員を巻き込んだ活動にしていく。また、1つの項目が年度内に改善終了することができず、次年度に持ち越したことも反省点である。

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
適切に自己点検活動を行なっている。内容については、部門責任者にて充分協議を行なっている。ただし、教職員を中心にした活動までは、まだ至っていない。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント
今年度より、教職員会議にて全教職員で共有する場を持った。ただし、改善活動の報告に留まっている。更に教職員を巻き込んだ活動になるようにしていく必要がある。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

自己点検の結果を踏まえ、ほとんどの改善課題については、改善活動を行なった。ただし、1項目「防災設備の理解、防災設備の安全化について」のみが年度内に終了することができなかった。(平成 29 年 4 月に実施)

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

自己点検の結果を踏まえ、改善活動を行ない、内部監査も計画的に実施した。ただし、1項目「防災設備の理解、防災設備の安全化について」のみが年度内に終了することができなかった。(平成 29 年 4 月に実施)

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

Web サイト上に掲載している。